

科目名	地域福祉論	
担当者	十島 真理 / TOSHIMA, Mari	
科目情報	心理臨床<福祉臨床> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	地域福祉の理念と内容について、地域の関わりを理解するとともに住民の役割について考える。福祉関係法や各制度の手続、内容等についても学びながら、利用者主体、自立支援、ノーマライゼーションといった福祉の理念と現実を考える。
	到達目標	福祉全般（高齢者福祉、障害者福祉の現状を中心に）について理解し、地域福祉の概念、理念、サービスの実施主体等について学び、今後の課題について理解する。
授業計画	(1) 地域福祉とは：地域福祉の概念 (2) コミュニティの理解：地域福祉の基盤としてのコミュニティ (3) 日本における地域福祉の歴史 (4) 地域福祉の主体と対象 (5) 地域福祉の方法論 (6) 地域福祉と社会福祉協議会 (7) 地域福祉と権利擁護 (8) 地域福祉に係る組織、団体及び専門職や地域住民 (9) 地域福祉とボランティア、NPO (10) 地域での生活を支える地域福祉サービスの実際 (11) 地域福祉計画と地域福祉活動計画 (12) 地域福祉の財源 (13) 地域福祉と介護保険 (14) 地域福祉の実践例 (15) これからの地域福祉の在り方 まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・学んだことを理解し、実践するよう努力する。
使用教材・参考文献	【教】『地域福祉の今を学ぶ 理論・実践・スキル』 妻鹿ふみ子編著 ミネルヴァ書房	
成績評価方法と基準	<評価方法>テスト60% 授業参加態度40%、 (小テスト20点、期末試験40点 宿題30点、受講態度10点) <基準>地域福祉の概念、理念、サービスの実施主体等を理解し講義の目的を達成されたものは合格とする。上記評価方法により合計が60点以上に達した者を合格とする。4回以上欠席した者は不合格とする。	
備考	1. 教科書を購入しなければ受講できない。なお、教科書は共同購入する。 2. 教員が指示する『読書』課題の遂行を、受講生の成績評価に加味、あるいは成績評価を受けるための前提とする。詳細は、初回の授業で説明する。	